



新しい総合計画が
スタート

あつぎ愛を誇りに 魅力を次代につなぐ

2026年度 施政方針要約

市議会第2回会議の初日、市政運営の考え方や重点的に取り組む施策を表明しました。議会では、総額1993億8153万1千円の予算が成立しました。

2026年市政運営への思い

『**繋**』

厚木市長

山口 貴裕



昨年、市制70周年という大きな節目を迎え、数多くの記念事業を通じて、皆さんの中にあつぎ愛とまちへの誇りが深まっていると実感しました。ここで築いた絆や取り組みなどを一過性のものとせず、次の10年、20年、そして30年後の100周年へと確実につなぎ、育てていかなければならないと感じています。

そして迎えた2026年、私は市政運営への思いを「繋」という一文字に込めました。市民の皆さんとの強い繋がりをさらに築くこと、記念事業で育んだ市民の皆さんとの絆を未来へ向かって繋ぐこと、そして次代を見据えてまちづくりを繋ぐこと。市民の皆さんに情報を繋ぐことも重要と考えています。

対話を通じ、さまざまな力を結集することで地域の力を高め、持続可能なまちづくりを着実に進めてまいります。

新たな総合計画を策定

今年4月、今後10年間にわたるまちづくりの方向性を定めた「第11次総合計画」がスタートします。将来都市像は「つながる未来都市 - A - T - S - U - G - I - 」。アルファベットのAは、未来を切り開くAmbitious。子育て・教育を柱に、子どもたちが新しい時代のつくり手として自分らしく成長できる環境を整えていきます。Tは共に創り育むTogether。福祉や

子育て・教育

Ambitious

03 新規 AI英会話アプリ

中学2・3年生を対象にAI英会話助手(ALT)の授業と併用し、意識した英語学習の充実を図る。

04 新規 あつぎ未来塾事業

大学や企業の協力を得て、中学生の技術や自然事象、人々との交流など、子どもたちが将来への展望を拓く。

R8開講予定

神奈川県立川崎大学	建築、交通、まちづくり
湘北短期大学	留学生との交流など
東京工芸大学	物質の素材特性に着目

※複数の市内企業による講座も実施予定

予算記者会見で



複合施設「あつめき」の整備状況を確認

健康、コミュニティーの充実を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちを共に育んでいきます。Sは安心と安全のSafe。誰もが心穏やかに、安全に暮らせる地域社会の実現を目指します。Uはほかにはない個性を生かすUnique。都市整備や産業振興を進め、利便性と活力を兼ね備えた厚木ならではの魅力ある都市空間を創出していきます。Gは自然と共生するGreen。豊かな自然と共生しながら、快適で美しい環境を未来へ引き継いでいきます。Iは創造と発見を生み出すInspire。スポーツや文化芸術の力を生かし、心豊かに暮らせるまちの魅力を高めていきます。

この六つを重ね合わせ、先進技

術と伝統、都市と自然、多様な市民が調和した新しい価値を生み出し、市民の皆さんが愛着と誇りを持てる「共創のまち」を目指していきます。

まちの目指すべき姿の実現に向けて

まちづくりを進める上では、人口減少や超高齢社会の進展、社会・経済環境の変化など、直面する課題は少なくありません。だからこそ、より良い厚木を目指して挑み続けることに意義があります。高みを目指すための変革に向けたチャンスでもあります。

市民の皆さんの思いが込められた将来都市像の実現に向け、「住

みたいまち」「育てたいまち」「働きたいまち」に重点を置き、子育て・教育、福祉・健康・コミュニティー、安心・安全、都市整備・産業、環境、スポーツ・文化芸術・魅力の各分野において、計画的かつ着実に施策を推進してまいります。

本年は「第11次総合計画」の初年度として、これからの10年に向けた第一歩を踏み出す重要な年です。市民の皆さん一人一人があつぎ愛を育み、「ふるさと厚木」に誇りを持てるまちへ。そして、全国・全世界から憧れを抱かれる魅力あるまちとなるよう、全身全霊を捧げて市政運営に取り組んでまいります。

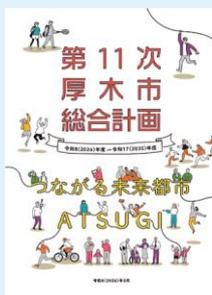
全文は市ホームページに掲載



事業と予算のあらまし

2026年度予算	5
一般会計	6
新たな総合計画がスタート	8
つながる未来都市 - A - T - S - U - G - I -	
アンビシャス Ambitious 未来を切り開く 子育て・教育	10
トゥゲザー Together 共に創る、育む 福祉・健康・コミュニティー	13
セーフ Safe 安心と安全 安心・安全	14
ユニーク Unique ほかにはない 都市整備・産業	16
グリーン Green 自然と共に 環境	18
インスパイア Inspire 創造と発見 スポーツ・文化芸術・魅力	19

第11次総合計画がスタート



市の将来都市像などを定めた計画を策定しました。詳細は、市政情報コーナーや公民館、市ホームページで確認できます。
 《8・9ページに関連記事》



企画政策課 ☎225-2455

詳細はこちら

2026年度 予算

問 財政課 ☎225-2170

予算

過去最大

総額 **1993億8153万1千円**
(前年度比 11.4%増)

一般会計

過去最大

総額 **1261億円**
(前年度比 15.6%増)

6・7
ページへ

特別会計

総額 **481億7653万1千円**
(前年度比 4.1%増)

公営企業会計

総額 **251億500万円**
(前年度比 6.6%増)

公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入で運営している事業の会計です。市には二つの公営企業会計があります。

病院事業会計

市立病院の運営

●収益的収支(前年度比)

収益：135億1000万円(7.8%増)

費用：132億4800万円(6.6%増)

●資本的収支(前年度比)

収入：12億8200万円(55.8%増)

支出：19億8500万円(25.1%増)

公共下水道事業会計

下水道の建設や維持管理費

●収益的収支(前年度比)

収益：65億8800万円(2.4%増)

費用：69億6500万円(8.7%増)

●資本的収支(前年度比)

収入：20億9300万円(7.1%減)

支出：29億700万円(7.2%減)

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て、目的に応じて使う会計です。市には五つの特別会計があります。

公共用地取得事業特別会計

3億5156万4千円(前年度比36.5%減)

公共用地の先行取得など

後期高齢者医療事業特別会計

50億3000万円(前年度比12.1%増)

後期高齢者への医療給付に必要な保険料の徴収など

国民健康保険事業特別会計

216億9400万円(前年度比3.5%増)

国民健康保険料が主な財源で、被保険者が病気やけがをした場合の給付など

介護保険事業特別会計

200億4000万円(前年度比3.4%増)

介護保険料が主な財源で、被保険者が介護サービスを利用した場合の給付など

学校給食事業特別会計

10億6096万7千円(前年度比19%増)

市立小・中学校の給食材料費など

一般会計

総額1261億円

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。

歳入

その他

223億4651万円

使用料・手数料、諸収入、基金からの繰入金など

譲与税・交付金

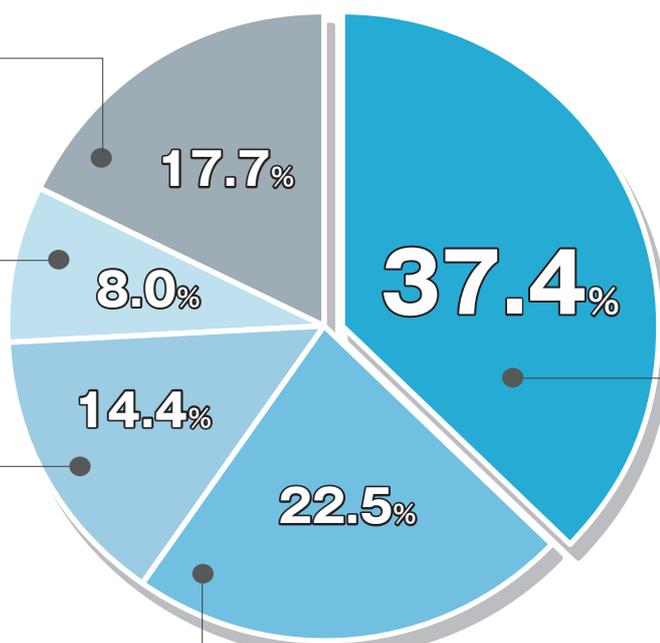
101億9224万円

地方譲与税や地方消費税交付金など

市債

181億7520万円

公共事業の財源とするための長期借入金



市税

471億694万円

市民税や固定資産税、都市計画税など

国・県支出金

282億7911万円

使い道が特定されている国や県からの補助金

貯金と借金(一般会計)

貯金(基金)

年度間の財源調整をする財政調整基金のほか、教育、文化振興、災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

基金の合計額

200億2198万円

(26年度末見込み額)

借金(市債)

学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入れ)を発行します。

市債の残高

961億1590万円

(26年度末見込み額)

《市税収入の内訳》

その他

25億9173万円

軽自動車税、市たばこ税、入湯税

個人市民税

156億1900万円

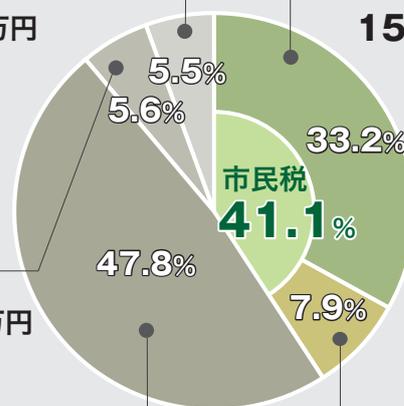
都市計画税

26億5221万円

固定資産税

225億3053万円

土地、家屋、償却資産など



法人市民税

37億1347万円

歳出

どんなことに使われている？

目的別 福祉や教育など、行政の目的に着目した歳出の分類

その他

90億1286万円
商工費、消防費など

公債費

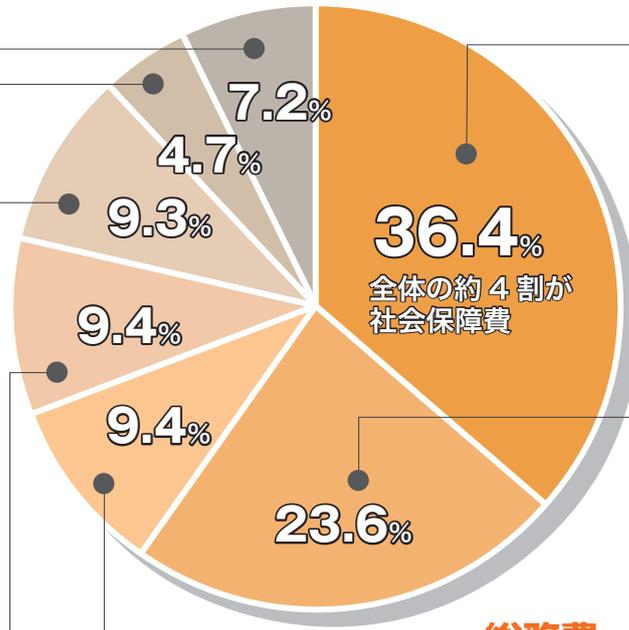
59億5542万円
借り入れた市債の返済

衛生費

117億7980万円
健康増進、疾病予防、環境対策、ごみ処理など

教育費

118億4374万円
学校教育、社会教育、スポーツ振興など



民生費

458億5524万円
高齢者や子育てなどの福祉サービス

土木費

297億6413万円
道路や公園、河川の整備など

総務費

118億8881万円
庁舎の維持管理、統計調査など

性質別 人件費や扶助費など、経費の経済的性質に着目した歳出の分類

その他

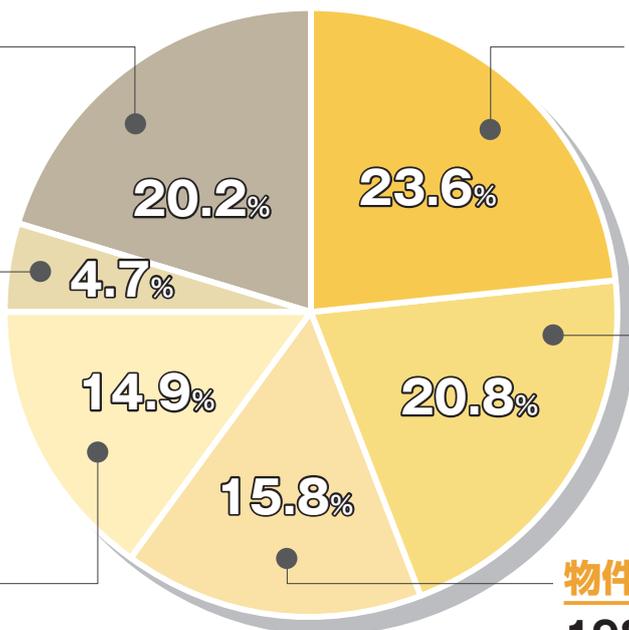
254億3934万円
施設の維持補修や団体への運営費補助金、基金への積立金など

公債費

59億5542万円
公共事業などの財源として借り入れた市債の返済

人件費

187億5369万円
職員の給与や議員の報酬など



普通建設事業費

298億1658万円
道路や公園をはじめとした公共施設の建設・改良工事など

扶助費

262億4864万円
児童手当や子育てをはじめとした福祉サービスなど

物件費

198億8633万円
公共施設の施設運営費や消耗品など

詳しくは [厚木市 2026年度予算](#) [検索](#)

次の10年間に向けて 新たな総合計画がスタート

4月から、将来のまちの姿と進むべき方向を定めた第11次総合計画が始まります。市民の皆さんと一緒に、新しい厚木をつくります。
☎企画政策課 ☎225-2455

総合計画とは

市が目指す将来都市像や、それを実現するための取り組みなどを示す長期的な計画です。子育てや防災、ごみの処理などあらゆる分野の方針や目標を定めています。2026年度からは新たに、10年間のまちづくりの方向性を定める第11次総合計画が始まります。

計画の構成と期間

計画は、「長期ビジョン」と「アクションプラン」の2層で構成します。



◆長期ビジョン(基本構想/基本計画)

まちが目指す将来都市像を実現するための六つの目標、施策の方針や重点プロジェクトなどを定めたもの。

◆アクションプラン(実施計画)

長期ビジョンで定めた施策の方針に基づき、具体的な事業を年度別に定めたもの。

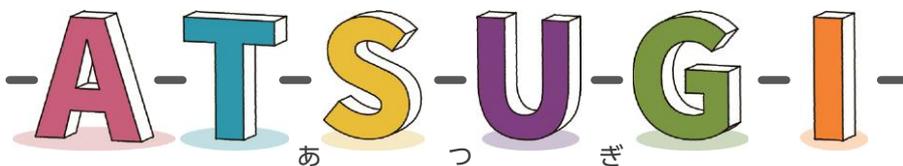
計画で目指す将来の人口

将来都市像の実現に向けた施策に取り組むとともに、人口減少に対する取り組みも進めていきます。

目標人口(2035年)
21万7000人

将来都市像 市の目指すまちの姿を定めました。

つながる未来都市



アルファベットには、理想的なまちの姿の実現に向けた思いを込めました。六つのまちづくりの目標(政策)につながります。

力を合わせて取り組む重点プロジェクト(まち・ひと・しごと創生総合戦略)

将来都市像の実現に向けて、人口減少を和らげるための取り組みを戦略的に推進。「住みたい」「育てたい」「働きたい」をキーワードとする三つの戦略を掲げ、分野を超えた取り組みを進めます。

戦略1 住みたいまち 厚木の**魅力**を伸ばし、住みたい住み続けたいまちをつくる

戦略2 育てたいまち こどもたちが**幸せ**に暮らし続けられるまちをつくる

戦略3 働きたいまち 地域経済の活性化により、**発展**し続けるまちをつくる

未来をつくる六つの取り組み

市が目指す未来をつくるために、六つのまちづくりの目標（政策）を設定し、取り組みを進めていきます。

子育て・教育

子どもたちが未来を切り開く創造力を育む環境をつくります。

— 10年後の未来の姿は —

寄り添う子育てと一人一人に合った学びで、自分らしく育てている！

A
Ambitious
未来を切り開く



福祉・健康・コミュニティ

安心して生き生きと暮らせるまちを市民と共に創り、育む環境をつくります。

— 10年後の未来の姿は —

地域のつながりの中で、誰もが生き生きと元気に暮らしている！

T
Together
共に創る、育む



安心・安全

全ての人々が安心・安全に暮らせる環境をつくります。

— 10年後の未来の姿は —

安心して日々を暮らし、もしものときには助け合っている！

S
Safe
安心と安全



都市整備・産業

ほかにはない都市空間の整備により、新たな価値を生み出す環境をつくります。

— 10年後の未来の姿は —

移動が便利で、人が行き交い、厚木ならではの活気があふれている！

U
Unique
ほかにはない



環境

市に広がる豊かな自然と共生する環境をつくります。

— 10年後の未来の姿は —

豊かな自然が身近にあり、環境に優しい暮らしが広がっている！

G
Green
自然と共に



スポーツ・文化芸術・魅力

住む人や訪れる人が、新たな創造と発見を得られる環境をつくります。

— 10年後の未来の姿は —

文化やスポーツ、まちの魅力によって、多くの人でにぎわっている！

I
Inspire
創造と発見



六つのまちづくりの目標（政策）に沿った主要な事業をお知らせします [NEXT PAGE](#)

Ambitious

未来を切り開く

子育て・教育

出産・子育てを希望する人を支援するとともに、児童・生徒一人一人の個性が輝く教育環境をつくれます。

妊娠を希望する人をサポート

妊娠応援助成金

新規 1480万円

こども家庭センター

希望する人が安心して出産・子育てできる環境づくりに向け、夫婦などが共に受けた不妊検査の費用、不育症の治療費、不妊治療に係る先進医療費の一部を助成します。

◆早期不妊検査費 **県内初**

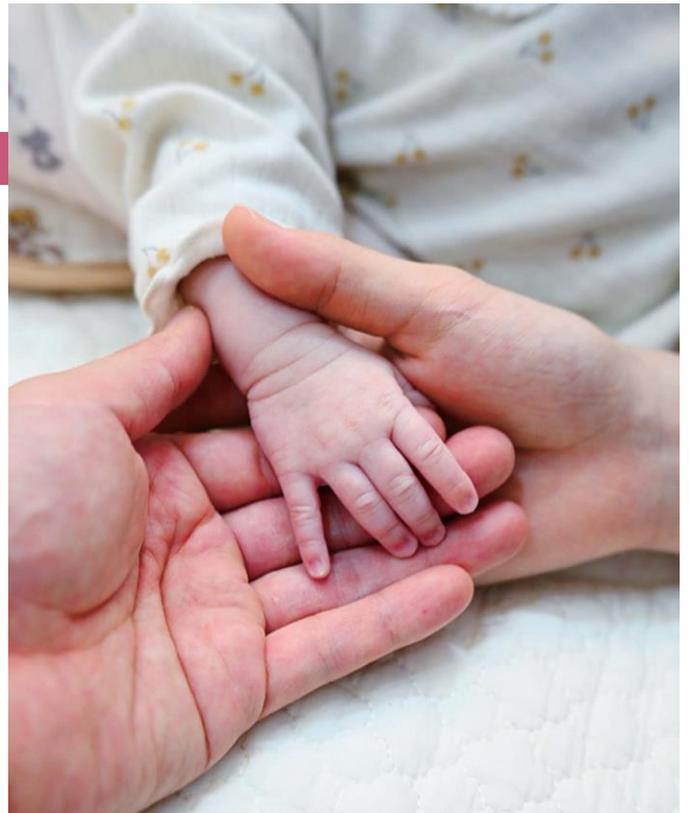
【助成金額】 上限3万円／1回

◆不育症治療費

【助成金額】 上限30万円／年度（治療費の2分の1）

◆不妊治療費 **継続**

【助成金額】 上限10万円／1回（治療費の10分の7）



健やかな成長につながる新たな遊び場へ

子育て支援センター リニューアル事業

継続 5006万円 (2026・27年度の2カ年) こども家庭センター

こども心をくすぐる冒険・経験・体験・学びができる居場所を目指し、子育て支援センターをリニューアル。2028年度のオープンに向け、2026・27年度に基本・実施設計を策定します。



実践的な英語力を高める

AI英会話アプリ 活用事業

新規 658万円

教育指導課

市立中学校にAI英会話アプリを導入します。外国語指導助手（ALT）の授業と併用し、実際のコミュニケーションを意識した英語学習の充実を図ります。

【対象】 中学2・3年生

こどもたちの主体的な学びの機会を

あつぎ未来塾事業

新規 40万円

教育指導課

大学や企業の協力を得て、中学生向けの講座を実施。先端科学技術や自然事象、人々との交流など「本物に出会う体験」を通じ、こどもたちが将来への展望を持てる機会を提供します。

◆2026年度開講（予定）

【大学】 神奈川工科大学、湘北短期大学、東京工芸大学

【企業】 アンリツ、ソニーグループ厚木テクノロジーセンター、日産自動車テクニカルセンター、ベネクス

学校生活を円滑に

幼保小連携推進事業

継続 51万円

こども育成課

幼稚園、保育所、小学校の教諭や保育士などを構成メンバーとした研究会で、カリキュラムのフォーマットを作成。こどもたちの円滑な小学校生活への接続に向け、モデル校による連携を実践します。

こどもたちの健やかな成長を支える

幼稚園等乳児等支援給付金

新規 324万円

こども育成課

民間保育所等乳児等 支援給付金

新規 331万円

保育課

保育所や認定こども園などを柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」に対応するため、実施施設へ給付金を交付します。



未来を切り開く **Ambitious**

子育て・教育



こどもたちが安心できる教育環境を

インクルーシブ教育 推進関連経費

拡大 **3億3979万円**

教育指導課
青少年教育相談センター

共生社会の実現に向け、全てのこどもたちが同じ場で共に育つことを目指すインクルーシブ教育を推進。支援体制の充実を図ります。

◆インクルーシブ教育推進事業 **県内初**

全市立小・中学校にインクルーシブ支援員、各学校を巡回するインクルーシブ指導員を配置します。

◆特別支援教育推進事業

特別な支援を必要とする児童・生徒に特別支援教育介助員を配置します。

◆青少年教育相談事業

児童・生徒が悩みなどを相談できるころろスマイル支援員の配置回数を拡大します。

◆登校支援推進事業

「校内教育支援センター フリールーム」に非常勤講師を配置する市立中学校を4校から5校に拡大します。

部活動の在り方を変革

中学校部活動 地域展開事業

新規 **172万円**

教育指導課

部活動の地域展開を進めるため、地域クラブコーディネーターを配置。休日の地域クラブ活動を実施する体制を整備していきます。



快適な学習環境と避難所機能を強化

小・中学校体育館 冷暖房設備設置事業

継続 **1億4588万円**

学校施設課



児童・生徒の安心・安全で快適な教育環境の確保や避難所としての機能を強化するため、2024年度から進めていた市立小・中学校体育館への冷暖房設備の設置が完了します。

【2026年度】 小学校9校・中学校3校に設置

T 共に創る、育む Together

福祉・健康・コミュニティー

住み慣れた地域でいつまでも生きがいを持って暮らせる環境をつくります。

出かける機会を促進

高齢者外出支援事業

拡大 2億9206万円 福祉総合支援課

神奈川中央交通が企画・販売する「かなちゃんパス」の購入費の一部を助成。高齢者タクシー利用券も引き続き交付します（選択制）。

◆かなちゃんパス

【助成金額】 2万円（年1回） = 1年券・6カ月券
1万円（年2回まで） = 3カ月券

◆高齢者タクシー **継続**

【助成金額】 1万9200円（400円券×48枚）



魅力あふれる施設へ

図書館整備事業

拡大 6875万円 中央図書館

未来・図書館の開館に向け、図書資料の購入を推進。新たに自動貸し出し・返却サービスを提供するため、所蔵資料へICタグを導入します。



2年間で洋式トイレ化

公民館トイレ改修事業

新規 2490万円 市民協働推進課

公民館の利便性、災害時の避難所機能を向上させるため、市立公民館の和式トイレ52基を2年間で洋式トイレに改修します。

【2026年度】

睦合北・睦合南・
南毛利・依知北・
緑ヶ丘公民館



Safe

安心と安全

安心・安全

心穏やかに暮らせるまちの実現に向け、地域防災力の強化や防犯、事故防止に取り組めます。



救急活動の迅速化

救急DX推進事業

新規 2954万円

救急救命課

救急隊が必要な傷病者情報をタブレット端末に入力し、医療機関と共有できるシステムを導入。県内で先進的な取り組みとなる生成AI機能を搭載し、円滑で迅速な救急搬送を目指します。

大規模災害に備えて

避難所運営強化事業

拡大 228万円

危機管理課

避難所開設時の円滑な受け入れと避難者数、要配慮者の早期把握に向け、指定避難所に災害備蓄用モバイルルーターを整備。市公式LINEを活用した避難所受け付けシステムを導入します。



災害時の快適なトイレ環境を確保

防災井戸等整備事業

新規 9807万円

危機管理課

災害時に備え、指定避難所となる小・中学校に生活用水を確保するための防災井戸と災害用水洗式マンホールトイレを設置します。

【2026年度】

戸室・妻田・上依知小学校、荻野・森の里中学校

防災・減災対策に向けて

地震被害想定調査事業

新規 1935万円

危機管理課

地域防災計画の改定や防災対策の基礎資料に活用するため、市への影響が想定される地震を調査します。

駅周辺のパトロールを強化

本厚木駅周辺環境浄化 対策事業

拡大 6981万円

暮らし交通安全課

市客引き行為等防止条例を改正し、規制対象となる営業に酒類提供店やカラオケ店などを追加。客引き行為をパトロールする指導員を増員して取り締まりを強化し、本厚木駅周辺の体感治安の向上につなげます。



犯罪を未然に防止する

自主防犯対策支援事業 補助金

拡大 200万円

暮らし交通安全課

振り込め詐欺などの迷惑電話を防止する機能の付いた電話機の購入に加え、個人宅に設置する住宅用防犯カメラの購入・設置費の一部を補助します。

◆住宅用防犯カメラ **新規**

【補助額】 最大2万円（費用の2分の1）

◆迷惑電話防止機能付き電話機など

【補助額】 最大6000円（費用の3分の2）

地域の防災リーダーを育成

少年消防クラブ運営事業

新規 199万円

予防課

小学生が団員となり、火災予防啓発イベントなどに参加。地域の将来を担う防災リーダーを育成します。

災害対応力の強化

病院事業会計負担金 （災害対策分）

新規 2000万円

施設用度課

災害拠点病院の機能強化を図るため、富士山噴火時の降灰対策として、非常用自家発電装置と空調・換気設備を保護する防じんフィルターを設置します。



Uほかにはない Unique

都市整備・産業

活力ある持続可能なまちを実現するために、交通機能の充実や産業振興などによる新しい価値を生み出します。

さまざまな魅力の詰まった施設を

複合施設「あつめき」 建設・開館準備関連事業

継続 177億6719万円 庁舎管理課

「生まれ変わる中心市街地」の先導役として、厚木バスセンター東側区域に複合施設「あつめき」を整備し、開館に向けた準備を進めます。

◆複合施設整備推進事務事業 継続

◆複合施設建設事業 継続

◆あつめき開館事業 新規



厚木の顔にふさわしい街並みを

本厚木駅北口周辺整備事業

継続 5040万円 市街地整備課

快適な歩行空間や広場と建物が一体となった「歩いて楽しいまち」の実現を目指し、再開発準備組合と共に本厚木駅北口の生まれ変わりに向けた取り組みを推進します。

道路交通環境を向上

街路整備事業

継続 6億9310万円 交通混雑対策課

市民生活の快適性や効率的な経済活動を支えるため、厚木秦野道路を軸とした広域道路ネットワークの形成を推進します。

【整備路線】

◆部分開通 厚木環状3号線、本厚木下津古久線

◆設計・調査 厚木環状2号線

◆測量・設計 厚木秦野道路アクセス道路
(尼寺原幹線、船子飯山線)

産業用地の創出に向けて

片平土地区画整理 推進事業

新規 2920万円 区画整理課

愛甲地区の片平土地区画整理組合設立に向け、設立準備委員会への支援を進めます。

依知地区に防災機能を備えた憩いの場を

北部地区公園整備事業

拡大 11億5382万円 公園緑地課

平常時は市民のコミュニティーや地域の憩いの場、災害時には物資の供給や集積の拠点となる公園を依知地区（山際）に整備。2026年度は施設の基本設計や土質調査、用地取得などを進めます。

対象を拡大して応援

定住促進子育て世帯 住宅取得支援事業補助金

拡大 5800万円

住宅課

子育て世帯が市内に住宅を新たに取得する際、取得費用の一部を補助します。対象となる年代を拡大し、さらなる定住促進を図ります。

【対象】 30歳代以下 → 40歳代まで

【補助額】 最大40万円（基本額20万円・加算あり）


新たな企業誘致と設備投資を促進

企業立地サポート事業 奨励金

拡大 1億6319万円

産業振興課

地域経済の活性化や雇用創出のため、企業立地条例を改正して奨励金による支援を拡大。工場建設や製造設備の更新など、企業の投資を促進します。

◆企業立地奨励金

【補助額】 中小企業 最大5000万円 → 1億円

◆戦略産業奨励金

【補助額】 大企業 最大1億円 → 10億円
 中小企業 最大5000万円 → 1億円

◆設備投資奨励金 **新設**

【補助額】 大企業＝最大1億円
 中小企業＝最大1000万円

新たな交流拠点に

多目的アリーナ 整備・運営事業

新規 5072万円

行政経営課

現在の市役所本庁舎敷地に、「ヒト・モノ・コト」をつなぐ結節点として多目的アリーナを整備します。防災機能を備えた交流拠点の創出に向け、人流シミュレーションなどを実施して整備基本計画を策定します。

効果的なPRと発信につなげる

商業店舗デジタル広告 補助金

新規 150万円

商業観光課

市内で10年以上にわたって店舗を営む事業者に対し、デジタル広告宣伝に関する経費の一部を補助します。

【補助額】 最大10万円（費用の2分の1）

自然と共に Green

環境

再生可能エネルギーの普及やごみの減量、環境保全に取り組み、豊かな自然と共生する環境をつくれます。



脱炭素社会を目指して

カーボンニュートラル 推進補助金

継続 2億2797万円

環境政策課

太陽光発電や省エネ設備などの導入を支援し、市内で発生する温室効果ガスの排出を削減します。

- ◆住宅省エネ設備導入促進補助金
- ◆省エネ住宅導入促進補助金
- ◆事業所用省エネ設備導入促進補助金

路上喫煙禁止を徹底

マナーアップ推進事業

拡大 1008万円

生活環境課

路上喫煙禁止区域内での喫煙者に対し、2027年度から罰則を規定。制度を周知するとともに、路上喫煙パトロールを強化します。



自然と共生する社会の実現

自然共生サイト推進事業

新規 165万円

環境政策課

環境省が推進する自然共生サイトに認定された「あつぎこどもの森公園」で、生物モニタリング調査や侵略的外来種の防除を実施します。



創造と発見 Inspire

スポーツ・文化芸術・魅力

心豊かな暮らしに向け、歴史や伝統の継承、芸術・スポーツに触れる環境の整備など、新たな創造と発見が得られる環境をつくります。

スポーツのまちへ

スポーツの聖地づくり 推進関連事業

新規 1248万円 **スポーツ魅力創造課**

◆スポーツ全国リーグ等招致補助金

全国リーグの招致団体を補助。トップアスリートを見る機会を提供します。

【補助額】 最大30万円

◆スポーツ環境整備推進事業

ツユキ及川球技場の3×3バスケットボールコートを改修。アーバンスポーツができる環境を整備します。

◆全国スポーツ大会等開催補助金 **拡大**

関東規模以上のスポーツ大会を開催する団体を補助します。

【補助額】 最大30万円



あつぎ温泉郷の魅力を高める

温泉施設整備事業補助金

新規 500万円 **商業観光課**

温泉旅館に対し、日帰り入浴に必要な設備の改修費などの一部を補助します。

【補助額】

日帰り温泉＝最大200万円（費用の4分の3）

その他温泉運営＝最大100万円（費用の4分の3）

文化芸術を楽しむまちに

文化芸術発信強化事業

拡大 785万円 **文化魅力創造課**

本厚木ミロード4階「ミロにわ」での発信のほか、糸満市がある沖縄県の「組踊」発表会、俳優として活躍する名取裕子さんの朗読会などを実施します。

あつぎの魅力を動画で発信



動画はこちら

公式LINE

登録すると最新情報が届きます。リッチメニューも充実。

LINE

@atsugi_city



公式SNS

写真や動画などで市の魅力や話題を発信。

X

@AtsugiCity



instagram

@atsugi_city



YouTube

@AtsugiCity

